

学校給食で使用した豚肉を加工業者が外国産を
国内産だと偽って(産地偽装)納入した件について

教育委員会事務局では、学校給食において、米、肉、野菜などの主要食材については国内産食材を使用しており、これまでも産地証明書等を提出させるほか、産地判別検査を実施するなど、国内産食材であることの確認をしていたところですが、この度、次のとおり豚肉の加工業者が外国産の豚肉を国内産だと偽って(産地偽装)納入していたことが判明しましたので、報告します。

1 概要

(1) 規格違反の内容

規格違反があった食材	納入先及び数量
①豚もも肉(令和5年9月11日給食使用) ②豚肩肉(令和5年9月11日給食使用) ・国内産を産地の規格としているところ、 外国産が混入した食材が納品された。 (検査結果:「カナダ産の可能性が高い」)	①豚もも肉:市立小学校80校 427kg 51,074食 ②豚肩肉:学校給食センター 238kg 20,630食 合計71,704食分 (学校名・献立等の詳細は別紙参照)

(2) 関係業者^{*1}(豚もも肉、豚肩肉はいずれも同一業者による加工)

- ・食材納品業者:黒光商事(こっこうしょうじ)株式会社(東京都大田区)
- ・食材加工業者:株式会社 寿食品(ことぶきしょくひん)(神奈川県相模原市中央区)

^{*1} 本市では学校給食食材調達を、公益財団法人川崎市学校給食会(以下「給食会」という。)に業務を委託しており、食材加工業者である寿食品(以下「寿食品」という。)は、給食会が食材納品業者である黒光商事(以下「当該納品業者」という。)に発注した豚肉の仕入れ及び加工(指定されたサイズへのカット、スライス等)を請け負い、必要な加工を行った豚肉を当該納品業者宛てに納品しています。

2 経過

月 日	経 過
9月11日(月)	・教育委員会事務局から産地判別検査の業務委託を受けた検査機関が、検査実施のため、同日の学校給食食材のうち、あらかじめ指定された小学校等から豚肉、鶏肉、大豆それぞれ2検体(1検体当たり100g)を収集
10月16日(月)	・同日午後8時57分、当該検査機関から教育委員会事務局宛て電子メールにより分析結果報告書が提出され、豚肉2検体(豚もも肉、豚肩肉)が外国産と判別される。(その他の検体はいずれも国内産と判別)
10月17日(火)	・検査結果を踏まえ、当該納品業者が扱う寿食品加工の豚肉の納品を10月18日納品分から当面の間、停止するよう教育委員会事務局から給食会に指示した。 ・健康福祉局保健医療政策部食品安全担当に情報提供して対応を協議する。
10月18日(水)	・健康福祉局保健医療政策部食品安全担当を通じて、神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課に検査結果に係る資料を提供し、対応について協議を行う。
10月19日(木)	・教育委員会事務局及び給食会が、当該納品業者及び寿食品それぞれに対して聞き取りを実施 ・当該納品業者については、寿食品から産地証明書(国内産)の提出を受けており、外国産との認識は一切ないとの回答 ・寿食品については、加工工場の詳細が不明のため、確認を行うとの回答

10月20日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・同日午前11時35分頃、教育委員会事務局及び給食会が、寿食品本社に神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課とともに訪問 ・寿食品に対する聞き取り及び伝票確認を実施したところ、9月11日分の給食食材の豚肉に外国産豚肉を混ぜて加工していたとの回答
10月23日（月）以降	<ul style="list-style-type: none"> ・不正競争防止法等に違反する疑いがあることから、各関係機関への情報提供を行い、協議を継続中

3 今後の対応について

(1) 関係機関との連携について

不正競争防止法等に違反する疑いがあることから、引き続き各関係機関及び神奈川県警察本部への情報提供を行い、連携して対応します。

(2) 給食提供について

教育委員会事務局においては、10月16日の検査結果を受けて、10月18日納品予定であった寿食品加工の豚肉の納品の中止を給食会に指示しており、他の業者による豚肉を既に給食会において発注済みであり、今後の給食の提供に影響はありません。

なお、混入された外国産豚肉は、一般に流通する輸入品と同じ製品であり、安全性に問題がないことは確認しており、現在のところ健康への影響などは確認されておりませんが、今後どのような混入を行っていたかなど、調査してまいります。

(3) 産地判別検査の追加実施について

今回偽装が判明した時点で、各小学校において保管している保存食^{※2}のうち、10月5日の給食で使用した寿食品加工の豚ひき肉2検体を追加で産地判別検査を実施するとともに、別途、他の業者から納品された豚肉についても、産地判別検査を実施するため、現在委託契約手続きを進めています。

※2 学校給食において食中毒及びその疑いが発生した場合、発生原因の調査のために、各学校及び各学校給食センターにおいて、毎日、給食食材の原材料、加工食品及び調理済食品を食品ごとに、50g程度ずつ採取し、2週間以上、冷凍保存している食品を「保存食」といいます。

(4) 偽装判明分以外の寿食品加工の豚肉について

寿食品加工の豚肉については、今回偽装が判明した9月11日分以外にも給食食材として使用していることから、寿食品加工による豚肉の使用量や金額等の詳細を精査し、今後の対応について検討してまいります。

4 再発防止

・再発防止のため、教育委員会事務局から給食会に対して給食食材の規格の遵守を徹底するよう文書により注意喚起するとともに、給食会から全ての給食食材納入業者に対して規格の遵守の徹底に関する文書を発出します。

・教育委員会事務局による産地判別検査について、今年度、産地判別検査を追加で実施して、産地の規格及び安全性について改めて確認するとともに、今後、より効果的に産地判別検査を実施するために検査方法や頻度についても検討してまいります。

○問合せ先

(給食食材の産地偽装への対応に関すること)

川崎市教育委員会事務局健康給食推進室 岩丸

電話 044-200-3296

(給食食材の調達に関すること)

公益財団法人 川崎市学校給食会 阿部

電話 044-200-1973

学校給食で使用した豚肉を加工業者が外国産を
国内産だと偽って(産地偽装)納入した件について (参考資料)

1 産地判別検査について

(1) 産地判別検査

本市では、国内での産地判別検査に実績がある株式会社 同位体研究所 (以下「同位体研究所」という。) に業務を委託して、年1回実施しています。検査は、豚肉・鶏肉・大豆の3食材について、それぞれ2検体、合計6検体を実施しています。

(2) 産地判別検査の検査方法

同位体研究所による検査は、安定同位体分析によって実施されます。安定同位体分析とは、サンプルを構成する組織中の分子がどのような環境から由来したものを分析します。
(例えば、同じ米品種や牛品種でも国産と輸入品とでは、品種は同じでも、生育履歴が異なり、安定同位体分析では判別が可能となります。)(同位体研究所 HP より一部抜粋)

2 規格違反があった食材(9月11日分)の納入(配送)先の学校一覧等

(1) 小学校(80校)

ア 学校名一覧

川崎区(19校)	幸区(13校)	中原区(18校)	多摩区(14校)	麻生区(16校)
殿町小学校	幸町小学校	下河原小学校	稲田小学校	長沢小学校
四谷小学校	南河原小学校	平間小学校	長尾小学校	西生田小学校
東門前小学校	御幸小学校	玉川小学校	宿河原小学校	千代ヶ丘小学校
大師小学校	西御幸小学校	下沼部小学校	登戸小学校	金程小学校
川中島小学校	戸手小学校	荏宿小学校	中野島小学校	百合丘小学校
さくら小学校	古川小学校	木月小学校	下布田小学校	南百合丘小学校
大島小学校	東小倉小学校	住吉小学校	東菅小学校	麻生小学校
渡田小学校	下平間小学校	井田小学校	南菅小学校	東柿生小学校
東小田小学校	古市場小学校	今井小学校	西菅小学校	王禅寺中央小学校
小田小学校	日吉小学校	上丸子小学校	菅小学校	真福寺小学校
浅田小学校	小倉小学校	西丸子小学校	東生田小学校	虹ヶ丘小学校
東大島小学校	南加瀬小学校	中原小学校	三田小学校	柿生小学校
向小学校	夢見ヶ崎小学校	宮内小学校	生田小学校	岡上小学校
田島小学校		大戸小学校	南生田小学校	片平小学校
新町小学校		下小田中小学校		栗木台小学校
旭町小学校		新城小学校		はるひ野小学校
宮前小学校		大谷戸小学校		
川崎小学校		小杉小学校		
京町小学校				

イ 規格違反があった食材を使用した献立、一人当たりの使用量、総食数、総使用量、金額

献立(9月11日分)	一人当たりの使用量	総食数、総使用量、金額
<ul style="list-style-type: none"> ごはん まぐろと大豆のみそがらめ ワンタンスープ 牛乳 	(ワンタンスープに使用) ・豚もも肉 7.5g ※小学校中学年一人分の使用量	<ul style="list-style-type: none"> 総食数 51,074食 総使用量 427kg 金額 666,120円 (単価:1kg当たり1,560円)

(2) 中学校 (南部学校給食センターから配送先となる学校 33校)

ア 学校名一覧

南部学校給食センター配送校		中部学校給食センター配送校	
A献立(10校)	B献立(11校)	C献立(5校)	D献立(7校)
南大師中学校	大師中学校	日吉中学校	平間中学校
臨港中学校	川中島中学校	玉川中学校	住吉中学校
田島中学校	桜本中学校	中原中学校	今井中学校
京町中学校	富士見中学校	宮内中学校	高津中学校
渡田中学校	川崎中学校	平中学校	西高津中学校
御幸中学校	南河原中学校		野川中学校
橘中学校	塚越中学校		稲田中学校
東高津中学校	南加瀬中学校		
宮崎中学校	有馬中学校		
宮前平中学校	向丘中学校		
	菅生中学校		

イ 規格違反があった食材を使用した献立、一人当たりの使用量、総食数、総使用量、金額

献立 (9月11日分)		一人当たりの使用量	総食数、総使用量、金額
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ツナそぼろごはん (麦ごはん) ・肉野菜炒め ・もずくスープ ・ヨーグルト ・牛乳 	(肉野菜炒めに使用) ・豚肩肉 15.0g	<ul style="list-style-type: none"> ・総食数 20,630食 ・総使用量 238kg ・金額 365,568円 (単価:1kg当たり1,536円)
B	<ul style="list-style-type: none"> ・麦ごはん ・かつおの磯風味 ・根菜のごまサラダ ・豚肉となすのみそ汁 ・牛乳 	(豚肉となすのみそ汁に使用) ・豚肩肉 10.0g	
C	<ul style="list-style-type: none"> ・麦ごはん ・ミートボールカレー ・きゅうりの中華づけ ・ヨーグルト ・牛乳 	(ミートボールカレーに使用) ・豚肩肉 10.0g	
D	<ul style="list-style-type: none"> ・麦ごはん ・とり肉のにらソース ・切り干し大根のベーコン煮 ・中華スープ ・牛乳 	(中華スープに使用) ・豚肩肉 10.0g	

令和5年10月31日

学校給食で使用した豚肉を加工業者が外国産を
国内産だと偽って(産地偽装)納入した件に関する
川崎市教育委員会教育長コメント

本市においては「健康給食」というコンセプトのもと、米、肉、野菜などの主要食材については国産食材を使用しており、これまでも産地証明書等を提出させるほか、産地判別検査を実施するなど、国内産食材であることの確認をしているところです。

しかしながら、今回、加工業者によって産地を偽って外国産である食材が納品されたことは、本市における多くの給食関係者がこれまで積み上げてきた学校給食に対する市民の信頼を裏切る行為であり、誠に遺憾に思います。

今後、警察などの関係機関による捜査などに全面的に協力するとともに、再発防止として、給食食材の調達を委託する公益財団法人川崎市学校給食会と連携して給食食材の取扱業者に対する指導及びコンプライアンス意識の徹底を図ってまいります。

川崎市教育委員会教育長 小田嶋 満

○問合せ先

川崎市教育委員会事務局健康給食推進室 岩丸

電話 044-200-3296